

「私には5歳半の娘がいます。シリーズです。  
幼稚園に上がった最初の年(2005-2006年)から、シリーズは、クラスの他の子どもたちと一緒に『人物画ノート』を作らなくてはなりません  
でした。  
毎月、ノートに人物の絵を書かなくてはなりませんでしたが、それ以外の指示はとくにありませんでした。

『人物』が定期的にページに現れ、時間の流れとともに変化するようになってから3年になります。  
シリーズが幼稚園で何をしているかを知ったことから、デッサンと写真を組み合わせるアイデアが浮かびました。

ジュリエット・ロベール(写真家であり幼稚園に通う子がいる)とともに、我々の子どもが通う幼稚園において仕事を始めてから3年になります。  
毎年、園の子どもたち全員の写真を撮り(幼稚園は6クラスあり、毎回170人の写真)、彼らが黒い画用紙に白いクレヨンで描いた自画像  
を集めます。  
1枚1枚の絵を『枠内に収まるように』スキャンし、これを描いた本人の写真と並べます。

このプロジェクトから、学年の終わりに全家庭に配布するポスターが作られることになりました。シリーズとクラスメートたちが小学校に上がり、  
彼らの絵が今より少し形式張ったものになる前に…。

仕事上の旅行で最近いくつかの国(ケニア、エジプト、チュニジア)を訪問したので、この機会を利用して、同じものを使って(白クレヨンと黒画  
用紙)、何かを求める人物たちを生み出すことにしました。

今日、私のもとには1000人ほどの白い人物が集まっており、私はもっと遠くを目指したいと思っています…。」

(ジル・ポルト-映画監督)